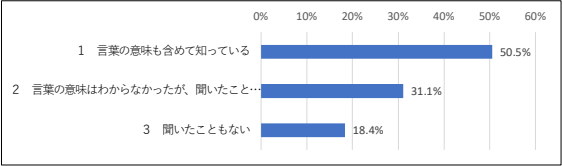


第4回 県内での多文化共生に関する意識調査

○ 実施期間 令和7年8月20日 ～ 8月26日
○ アンケート会員数 334名 回答者数 283名 (84.7%)
○ 県政の推進につきまして、日頃よりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
このアンケートは、奈良県が、国籍や民族などの違いに関わらず、県民の皆様が安心して暮らすことができる多文化共生社会(※)の実現に向けた社会づくりを進めるために実施するものです。
つきましては、お忙しいところお手数をおかけしますが、本アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。
(グラフ内スペースの関係から、選択肢の全文が表示されないことがあります。左の表でご確認ください。)

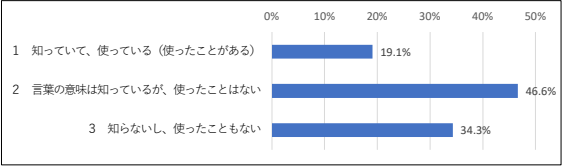
問1 「多文化共生」という言葉を知っていますか。※多文化共生…国籍・民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きること

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 言葉の意味も含めて知っている	143	283	50.5%
2 言葉の意味はわからなかったが、聞いたことはある	88		31.1%
3 聞いたこともない	52		18.4%
総計	283		100.0%



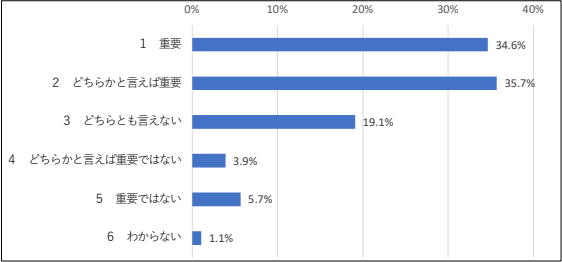
問2 「やさしい日本語」を知っていますか。※やさしい日本語…普段使われている言葉を外国人にもわかるように、難しい語句を簡単な語句や表現に言い換えたり、文書を簡潔にするなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 知っていて、使っている(使ったことがある)	54	283	19.1%
2 言葉の意味は知っているが、使ったことはない	132		46.6%
3 知らないし、使ったこともない	97		34.3%
総計	283		100.0%



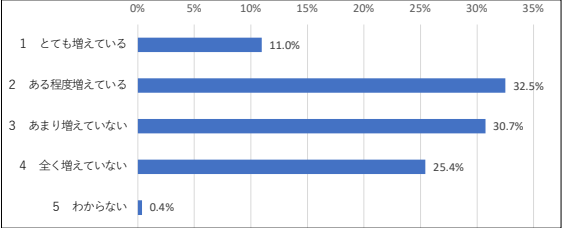
問3 現在、奈良県には1万9千人を超える外国人が暮らしています。国籍や民族等の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 重要	98	283	34.6%
2 どちらかと言えば重要	101		35.7%
3 どちらとも言えない	54		19.1%
4 どちらかと言えば重要ではない	11		3.9%
5 重要ではない	16		5.7%
6 わからない	3		1.1%
総計	283		100.0%



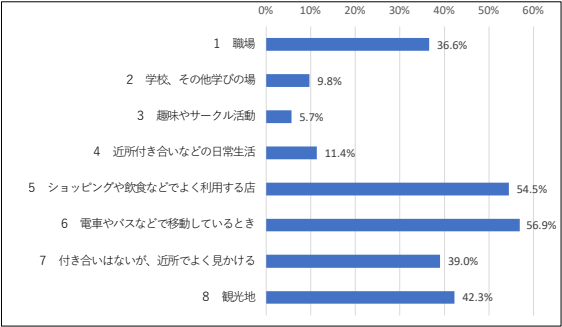
問4 日々の暮らしの中で、外国人住民と接する機会が増えていますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 とても増えている	31	283	11.0%
2 ある程度増えている	92		32.5%
3 あまり増えていない	87		30.7%
4 全く増えていない	72		25.4%
5 わからない	1		0.4%
総計	283		100.0%



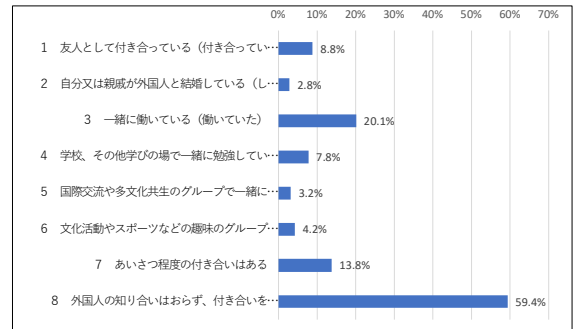
問5 問4で「1 とても増えている」、「2 ある程度増えている」を選択された方にお尋ねします。どのような場面で外国人住民と接する機会が増えていますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 職場	45	123	36.6%
2 学校、その他学びの場	12		9.8%
3 趣味やサークル活動	7		5.7%
4 近所付き合いなどの日常生活	14		11.4%
5 ショッピングや飲食などでよく利用する店	67		54.5%
6 電車やバスなどで移動しているとき	70		56.9%
7 付き合いはないが、近所でよく見かける	48		39.0%
8 観光地	52		42.3%
総計	315		



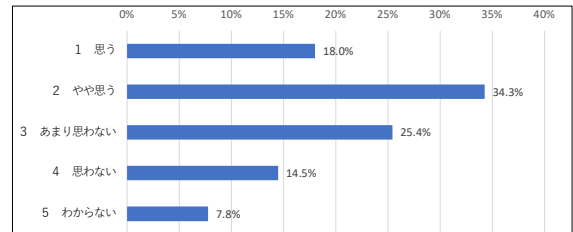
問6 日々の暮らしの中で、外国人住民とどのような付き合いがありますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 友人として付き合いしている(付き合いしていた)	25	283	8.8%
2 自分又は親戚が外国人と結婚している(していた)	8		2.8%
3 一緒に働いている(働いていた)	57		20.1%
4 学校、その他学びの場で一緒に勉強している(勉強していた)	22		7.8%
5 国際交流や多文化共生のグループで一緒に活動している(活動していた)	9		3.2%
6 文化活動やスポーツなどの趣味のグループで一緒に活動している(活動していた)	12		4.2%
7 あいさつ程度の付き合いはある	39		13.8%
8 外国人の知り合いはおらず、付き合いを持ったこともない	168		59.4%
総計	340		



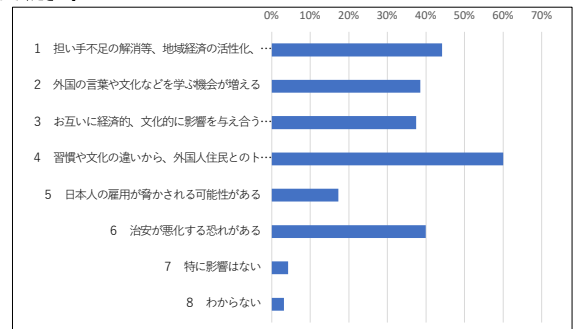
問7 外国人住民と地域社会や職場、学校、イベントなどで交流や関わりを持ちたいと思いますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 思う	51	283	18.0%
2 やや思う	97		34.3%
3 あまり思わない	72		25.4%
4 思わない	41		14.5%
5 わからない	22		7.8%
総計	283		100.0%



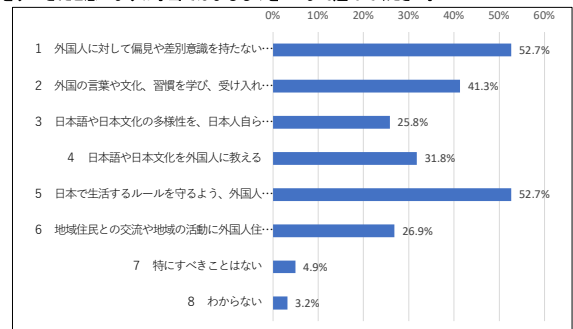
問8 地域社会に外国人住民が増えることについてどのような印象を持ちますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 担い手不足の解消等、地域経済の活性化、発展につながる	125	283	44.2%
2 外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増える	109		38.5%
3 お互いに経済的、文化的に影響を与え合うことで、地域の国際化につながる	106		37.5%
4 習慣や文化の違いから、外国人住民とのトラブルが増える恐れがある	170		60.1%
5 日本人の雇用が脅かされる可能性がある	49		17.3%
6 治安が悪化する恐れがある	113		39.9%
7 特に影響はない	12		4.2%
8 わからない	9		3.2%
総計	693		



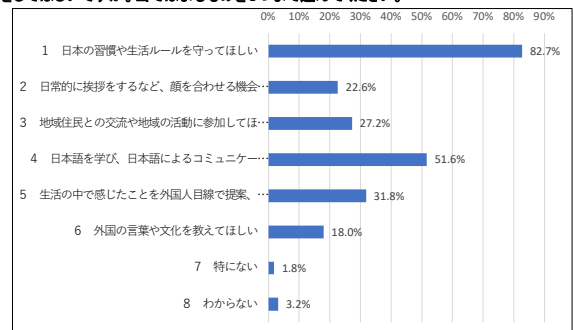
問9 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていきたいため、「日本人住民」は何をすべきだと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 外国人に対して偏見や差別意識を持たないようにする	149	283	52.7%
2 外国の言葉や文化、習慣を学び、受け入れる意識を持つ	117		41.3%
3 日本語や日本文化の多様性を、日本人自らが知る努力をする	73		25.8%
4 日本語や日本文化を外国人に教える	90		31.8%
5 日本で生活するルールを守るよう、外国人住民に呼びかける	149		52.7%
6 地域住民との交流や地域の活動に外国人住民の参加を呼びかける	76		26.9%
7 特にすべきことはない	14		4.9%
8 わからない	9		3.2%
総計	677		



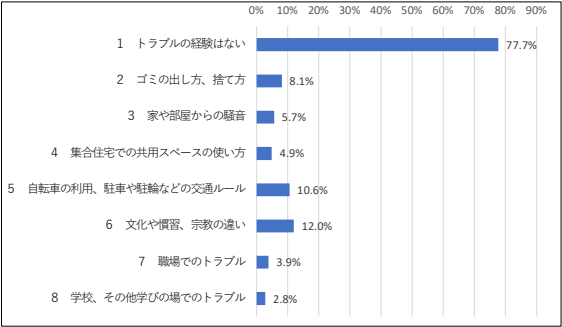
問10 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていきたいため、「外国人住民」に何をしてほしいですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 日本の習慣や生活ルールを守ってほしい	234	283	82.7%
2 日常的に挨拶をするなど、顔を合わせる機会がほしい	64		22.6%
3 地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい	77		27.2%
4 日本語を学び、日本語によるコミュニケーションが取れるようになってほしい	146		51.6%
5 生活の中で感じたことを外国人目線で提案、発言してほしい	90		31.8%
6 外国の言葉や文化を教えてほしい	51		18.0%
7 特になし	5		1.8%
8 わからない	9		3.2%
総計	676		



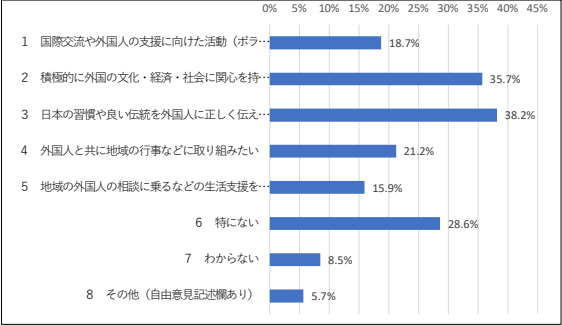
問11 外国人住民とのトラブルの経験はありますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 トラブルの経験はない	220	283	77.7%
2 ゴミの出し方、捨て方	23		8.1%
3 家や部屋からの騒音	16		5.7%
4 集合住宅での共用スペースの使い方	14		4.9%
5 自転車の利用、駐車や駐輪などの交通ルール	30		10.6%
6 文化や慣習、宗教の違い	34		12.0%
7 職場でのトラブル	11		3.9%
8 学校、その他学びの場でのトラブル	8		2.8%
総計	356		



問12 今後、多文化共生・国際化が進むに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいと思いませんか。(当てはまるものを全て選んでください。)

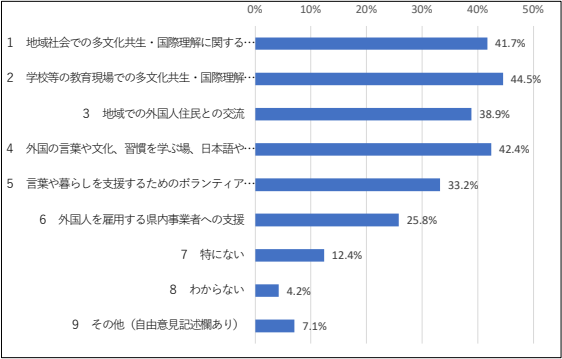
選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 国際交流や外国人の支援に向けた活動(ボランティアを含む)に参加したい	53	283	18.7%
2 積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい	101		35.7%
3 日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい	108		38.2%
4 外国人と共に地域の行事などに取り組みたい	60		21.2%
5 地域の外国人の相談に乗るなどの生活支援をしていきたい	45		15.9%
6 特にない	81		28.6%
7 わからない	24		8.5%
8 その他(自由意見記述欄あり)	16		5.7%
総計	488		



自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)
・支援を行いたい、言葉も話せない、具体的にどうすれば良いのか、わからない ・外国人とひとくりにせずコミュニケーションをとるようにしたい ・自分の周りで外国人と接する機会が増えるなら、文化や習慣の違いでトラブルが起きた時の対処を考え、身を守る備えを怠らないようになくてはと考えます。 ・今は特に日常的に外国人と接する機会がないが、必要になれば状況に応じて考えたい

問13 今後、多文化共生・国際化が進むに伴い、奈良県においてどのような「日本人住民向け」の施策が重要だと考えますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

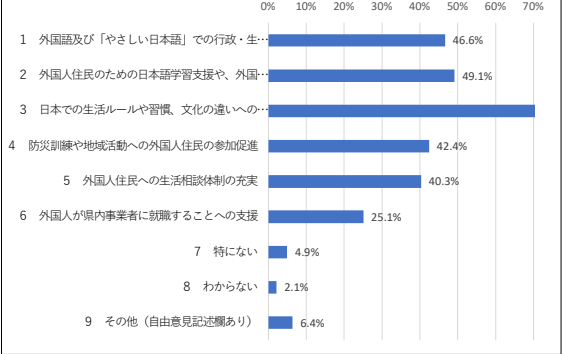
選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 地域社会での多文化共生・国際理解に関する啓発	118	283	41.7%
2 学校等の教育現場での多文化共生・国際理解の充実	126		44.5%
3 地域での外国人住民との交流	110		38.9%
4 外国の言葉や文化、習慣を学ぶ場、日本語や日本文化を学ぶ場の創出	120		42.4%
5 言葉や暮らしを支援するためのボランティアの育成	94		33.2%
6 外国人を雇用する県内事業者への支援	73		25.8%
7 特にない	35		12.4%
8 わからない	12		4.2%
9 その他(自由意見記述欄あり)	20		7.1%
総計	708		



自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)
・外国人に対して奈良県に住むために、留意して欲しいことを地域住民から聞き取るなど、地域住民に寄り添った施策をすべき

問14 今後、多文化共生・国際化が進むに伴い、奈良県においてどのような「外国人住民向け」の施策が重要だと考えますか。(当てはまるものを全て選んでください。)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 外国語及び「やさしい日本語」での行政・生活情報発信の推進	132	283	46.6%
2 外国人住民のための日本語学習支援や、外国人児童・生徒への学校現場での支援の充実	139		49.1%
3 日本での生活ルールや習慣、文化の違いへの理解に関する啓発	219		77.4%
4 防災訓練や地域活動への外国人住民の参加促進	120		42.4%
5 外国人住民への生活相談体制の充実	114		40.3%
6 外国人が県内事業者就職することへの支援	71		25.1%
7 特にない	14		4.9%
8 わからない	6		2.1%
9 その他(自由意見記述欄あり)	18		6.4%
総計	833		



自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)
・「多文化共生」「外国人だから」というよりは、その場所での生活のルールを広く住民へ知らせるべきだと思います。その中の一つに、外国人でも分かりやすい、があればよいのだと思います。 ・日本は将来的には少子化問題で外国人労働者に頼らざるを得ないかも知れませんが、その時には、生活ルールや習慣、文化の違いへの理解をしてもらうことが必要だと思います。